

毒物及び劇物に関する法規

問1 以下の記述は、法の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものの組み合わせはどれか。

第1条

この法律は、毒物及び劇物について、保健衛生上の見地から必要な（ a ）を行うことを目的とする。

第2条第2項

この法律で「劇物」とは、別表第二に掲げる物であつて、（ b ）以外のものをいう。

番号	a	b
1	管理	医薬品及び医薬部外品
2	管理	医薬品及び化粧品
3	取締	医薬品及び医薬部外品
4	取締	医薬品及び化粧品

問2 次のうち、法第3条の2の規定に基づく、特定毒物の品目と施行令で定める用途として、正しいものの組み合わせはどれか。

番号	特定毒物の品目	用途
1	四アルキル鉛を含有する製剤	ガソリンへの混入
2	モノフルオール酢酸の塩類を含有する製剤	かんきつ類、りんご、なし、桃又はかきの害虫の防除
3	モノフルオール酢酸アミドを含有する製剤	野ねずみの駆除
4	ジメチルエチルメルカプトエチルチオホスフエイトを含有する製剤	くん蒸によるねずみ、昆虫等の駆除

問3 次のうち、法第3条の2第9項の規定に基づく、四アルキル鉛を含有する製剤の着色の基準として、施行令で定めるものに該当しないものはどれか。

- 1 赤色
- 2 黒色
- 3 青色
- 4 緑色

問4 以下の記述は、法の条文の一部である。()の中に入る字句として、正しいものの組み合わせはどれか。

第3条の3

興奮、幻覚又は(a)の作用を有する毒物又は劇物(これらを含有する物を含む。)であつて政令で定めるものは、みだりに摂取し、若しくは吸入し、又はこれらの目的で(b)してはならない。

番号	a	b
1	鎮静	授与
2	麻酔	授与
3	鎮静	所持
4	麻酔	所持

問5 次のうち、法第3条の4の規定に基づく、引火性、発火性又は爆発性のある毒物又は劇物であつて施行令で定めるものとして、正しいものはどれか。

- 1 ナトリウム
- 2 メタノール
- 3 ニトロベンゼン
- 4 アリルアルコール

問6 次の記述は、毒物劇物営業者の登録等に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a 毒物劇物製造業者が、自ら製造した毒物又は劇物を、他の毒物劇物販売業者に販売するときは、毒物劇物販売業の登録を受けることなく、毒物又は劇物を販売することができる。
- b 毒物劇物製造業の登録は、厚生労働大臣が行う。
- c 毒物劇物輸入業の登録は、6年ごとに更新を受けなければ、その効力を失う。
- d 毒物劇物営業者は、登録票の再交付を受けた後、失った登録票を発見した場合には、これを返納しなければならない。

1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

問7 次のうち、法第7条及び第8条の規定に基づく毒物劇物取扱責任者に関する記述として、正しいものはどれか。

- 1 毒物劇物営業者が、毒物劇物輸入業と毒物劇物販売業を併せて営む場合において、その営業所と店舗が互いに隣接している場合でも、それぞれに専任の毒物劇物取扱責任者を置かなければならない。
- 2 毒物劇物営業者は、毒物劇物取扱責任者を変更したときは、30日以内に届け出なければならない。
- 3 薬剤師は、毒物又は劇物の一般販売業の店舗において毒物劇物取扱責任者になることができない。
- 4 特定品目毒物劇物取扱者試験に合格した者は、特定品目のみを取り扱う毒物劇物製造業の製造所において毒物劇物取扱責任者になることができる。

問8 以下の記述は、法の条文の一部である。()の中に入る字句として、正しいものはどれか。

第9条第1項

毒物又は劇物の製造業者又は輸入業者は、登録を受けた毒物又は劇物以外の毒物又は劇物を製造し、又は輸入しようとするときは、()、第六条第二号に掲げる事項につき登録の変更を受けなければならない。

- 1 あらかじめ
- 2 すみやかに
- 3 十五日以内に
- 4 三十日以内に

参考：法第6条第2号

製造業又は輸入業の登録にあつては、製造し、又は輸入しようとする毒物又は劇物の品目

問9 次のうち、法第10条第1項の規定に基づき、毒物劇物販売業者が30日以内に届け出なければならない場合として、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 毒物劇物販売業者が法人であつて、その主たる事務所の所在地を変更したとき
- b 営業時間を変更したとき
- c 販売する毒物又は劇物の品目を変更したとき
- d 営業を廃止したとき

- 1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

問10 以下の記述は、法の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものの組み合わせはどれか。

第11条第3項

毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、その製造所、営業所若しくは店舗又は研究所の外において毒物若しくは劇物又は前項の政令で定める物を（ a ）する場合には、これらの物が飛散し、漏れ、流れ出、又はしみ出ることを防ぐのに必要な措置を講じなければならない。

第11条第4項

毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、毒物又は厚生労働省令で定める劇物については、その容器として、（ b ）の容器として通常使用される物を使用してはならない。

番号	a	b
1	保管	医療用
2	保管	飲食物
3	運搬	医療用
4	運搬	飲食物

問11 次のうち、法第12条第1項の規定に基づく毒物の容器及び被包における表示の方法として、正しいものはどれか。

- 1 「医薬用外」の文字及び赤地に白色で「毒物」の文字を表示
- 2 「医薬用外」の文字及び黒地に白色で「毒物」の文字を表示
- 3 「医薬用外」の文字及び白地に黒色で「毒物」の文字を表示
- 4 「医薬用外」の文字及び白地に赤色で「毒物」の文字を表示

問12 次のうち、規則第11条の6第2号の規定に基づき、毒物劇物製造業者が、その製造した塩化水素を含有する製剤たる劇物（住宅用の洗浄剤で液体状のものに限る。）を販売するとき、その劇物の容器及び被包に表示しなければならない事項として、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 皮膚に触れた場合には、石けんを使ってよく洗うべき旨
- b 小児の手の届かないところに保管しなければならない旨
- c 眼に入った場合は、直ちに流水でよく洗い、医師の診断を受けるべき旨
- d 居間等人が常時居住する室内では使用してはならない旨

1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

問13 次のうち、法第13条の規定に基づき、「あせにくい黒色」で着色したものでなければ、毒物劇物営業業者が農業用として販売し、又は授与してはならないものとして、正しいものの組み合わせはどれか。

- a チオセミカルバジドを含有する製剤たる劇物
- b 燐化亜鉛^{りん}を含有する製剤たる劇物
- c ロテノン^{ろてん}を含有する製剤たる劇物
- d 硫酸タリウムを含有する製剤たる劇物

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

問14 次のうち、法第14条第1項の規定に基づき、毒物劇物営業業者が、毒物又は劇物を他の毒物劇物営業業者に販売したとき、その都度、書面に記載しておかなければならない事項として、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 販売の年月日
- b 使用目的
- c 毒物又は劇物の製造番号
- d 譲受人の職業

1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

問15 以下の記述は、法の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものの組み合わせはどれか。

第15条第1項

毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を次に掲げる者に交付してはならない。

- 一 （ a ） 歳未満の者
- 二 （ b ） の障害により毒物又は劇物による保健衛生上の危害の防止の措置を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの
- 三 麻薬、大麻、（ c ） 又は覚せい剤の中毒者

番号	a	b	c
1	十八	心身	あへん
2	十八	身体	シンナー
3	二十	身体	あへん
4	二十	心身	シンナー

問16 以下の記述は、施行令の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものの組み合わせはどれか。

第40条

法第十五条の二の規定により、毒物若しくは劇物又は法第十一条第二項に規定する政令で定める物の廃棄の方法に関する技術上の基準を次のように定める。

- 一 中和、（ a ）、酸化、還元、（ b ）その他の方法により、毒物及び劇物並びに法第十一条第二項に規定する政令で定める物のいずれにも該当しない物とすること。

番号	a	b
1	加水分解	脱水
2	加水分解	稀釈
3	溶解	脱水
4	溶解	稀釈

問17 以下の記述は、法の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものはどれか。

第17条第2項

毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、その取扱いに係る毒物又は劇物が盗難にあい、又は紛失したときは、直ちに、その旨を（ ）に届け出なければならない。

- 1 保健所
- 2 警察署
- 3 消防機関
- 4 保健所、警察署又は消防機関

問18 以下の記述は、法の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものの組み合わせはどれか。

第18条第1項

都道府県知事は、（ a ）必要があると認めるときは、毒物劇物営業者若しくは特定毒物研究者から必要な報告を徴し、又は薬事監視員のうちからあらかじめ指定する者に、これらの者の製造所、営業所、店舗、研究所その他業務上毒物若しくは劇物を取り扱う場所に立ち入り、帳簿その他の物件を検査させ、関係者に質問させ、若しくは試験のため必要な最小限度の分量に限り、毒物、劇物、第十一条第二項の政令で定める物若しくはその疑いのある物を（ b ）させることができる。

番号	a	b
1	犯罪捜査上	回収
2	犯罪捜査上	収去
3	保健衛生上	回収
4	保健衛生上	収去

問19 次のうち、法第22条第1項の規定に基づく業務上取扱者の届出が必要な事業であって、施行令で定めるものとして、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 無水クロム酸を使用して、金属熱処理を行う事業
- b 砒^ひ素化合物たる毒物を使用して、しろありの防除を行う事業
- c 無機シアン化合物たる毒物を使用して、電気めっきを行う事業
- d 燐^{りん}化アルミニウムを使用して、倉庫内におけるねずみ、昆虫等の駆除を行う事業

1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

問20 次のうち、施行令第40条の9及び規則第13条の12の規定に基づき、毒物劇物営業者が、毒物又は劇物を販売する時までに、譲受人に対し、提供しなければならない情報として、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 毒物又は劇物の別
- b 盗難又は紛失時の措置
- c 使用期限
- d 輸送上の注意

1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

基礎化学

問21 次のうち、混合物として、最も適当なものはどれか。

- 1 水
- 2 塩化ナトリウム
- 3 ドライアイス
- 4 空気

問22 次のうち、赤の炎色反応を示す元素として、最も適当なものはどれか。

- 1 リチウム
- 2 ナトリウム
- 3 バリウム
- 4 銅

問23 次のうち、物質の状態変化に関する記述として、誤っているものはどれか。

- 1 固体から気体への変化を昇華という。
- 2 固体から液体への変化を融解という。
- 3 液体から気体への変化を蒸発という。
- 4 液体から固体への変化を凝縮という。

問24 次のうち、原子とその構造に関する記述として、正しいものはどれか。

- 1 原子核は、陽子と中性子と電子からできている。
- 2 原子番号は、原子核中の中性子の数である。
- 3 原子核中に含まれる陽子の数と中性子の数の和をその原子の質量数という。
- 4 陽子と電子の質量は、ほぼ同じである。

問25 次のうち、気体とその捕集方法の組み合わせとして、最も適当なものはどれか。

番号	気体	捕集方法
1	アンモニア	下方置換
2	一酸化炭素	水上置換
3	二酸化窒素	水上置換
4	塩化水素	上方置換

問26 次のうち、ハロゲンに属する元素はどれか。

- 1 A r
- 2 B r
- 3 C r
- 4 S r

問27 次のうち、標準状態（0℃、1気圧）において、窒素1molと酸素1molからなる混合気体が占める体積として、最も適当なものはどれか。

- 1 11.2 L
- 2 22.4 L
- 3 33.6 L
- 4 44.8 L

問28 次のうち、正塩として、正しいものの組み合わせはどれか。

- a CH_3COONa
- b MgCl(OH)
- c NaHSO_4
- d NH_4Cl

- 1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d)

問29 次のうち、メタノールを酸化したときの生成物として、最も適当なものはどれか。

- 1 ギ酸
- 2 酢酸
- 3 プロピオン酸
- 4 アセトン

問30 次のうち、分子の形が直線形であるものとして、正しいものはどれか。

- 1 水
- 2 メタン
- 3 アンモニア
- 4 二酸化炭素

問31 次のうち、0.5 mol/L 酢酸水溶液のpHとして、最も適当なものはどれか。
ただし、温度は25℃、酢酸の電離度は0.02とする。

- 1 pH 2
- 2 pH 3
- 3 pH 4
- 4 pH 5

問32 次の可逆反応が平衡状態になっているとき、ルシャトリエの原理による平衡移動において右に移動させる操作の正しい組み合わせとして、最も適当なものはどれか。



- a アンモニアを加える
- b 窒素を加える
- c 圧力を上げる
- d 温度を上げる

- 1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d)

問33 次のうち、 0.5 mol/L の水酸化カリウム水溶液 20 mL を中和するのに必要な 0.1 mol/L の硫酸の量として、最も適当なものはどれか。

- 1 10 mL
- 2 25 mL
- 3 50 mL
- 4 100 mL

問34 次のうち、二次電池として、正しいものはどれか。

- 1 リチウム電池
- 2 リチウムイオン電池
- 3 マンガン乾電池
- 4 アルカリマンガン乾電池

問35 次のうち、分子結晶に関する記述として、誤っているものはどれか。

- 1 多数の分子が分子間力で引き合い、規則正しく配列した結晶である。
- 2 ヨウ素は分子結晶である。
- 3 一般的にイオン結晶と比較して融点が高い。
- 4 昇華性を持つものが多い。

問36 次のうち、密度が 1.1 g/cm^3 である $8.0\text{ (w/w) \%}$ の水酸化ナトリウム水溶液のモル濃度として、最も適当なものはどれか。ただし、原子量は $\text{H}=1.0$ 、 $\text{O}=16$ 、 $\text{Na}=23$ とする。

- 1 1.8 mol/L
- 2 2.0 mol/L
- 3 2.2 mol/L
- 4 2.8 mol/L

問37 次のうち、酸化還元反応に関する記述として、誤っているものはどれか。

- 1 一般に酸化と還元は同時に起こり、それぞれの反応が単独で起こることはない。
- 2 物質が酸素を受け取る変化は、酸化反応である。
- 3 還元剤は、反応相手の物質の酸化数を増加させる物質である。
- 4 二酸化硫黄は、反応相手の物質により酸化剤としても還元剤としてもはたらく。

問38 次のうち、分子式 C_3H_8O で表される物質の構造異性体の数として、正しいものはどれか。

- 1 2種類
- 2 3種類
- 3 4種類
- 4 5種類

問39 次のうち、フェノール類に分類される有機化合物として、正しいものの組み合わせはどれか。

- a サリチル酸
- b アニリン
- c ピクリン酸
- d アセチルサリチル酸

- 1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d)

問40 次のうち、タンパク質の検出に利用される反応として、最も適当なものはどれか。

- 1 ニンヒドリン反応
- 2 銀鏡反応
- 3 ヨードホルム反応
- 4 ヨウ素デンプン反応

毒物及び劇物の性質及び貯蔵その他取扱方法

問41 次のうち、ピクリン酸の貯蔵方法として、最も適当なものはどれか。

- 1 空気中にそのまま保存することはできないので、通常石油中に貯蔵する。
- 2 火気に対し安全で隔離された場所に、硫黄、ヨード、ガソリン、アルコール等と離して貯蔵する。
- 3 密栓遮光下で金属容器にて貯蔵する。
- 4 わずかの熱で発火し、発生した気体で爆発することがあるので、換気良好な冷暗所に貯蔵する。

問42 次のうち、物質とその性質に関する記述の正しい組み合わせとして、最も適当なものはどれか。

- a クロルスルホン酸は、引火性液体で空気中では発煙する。
- b 無水クロム酸は、暗赤色結晶で潮解性がある。
- c 臭素は、無色の液体である。
- d ラサロシドは、ナトリウム塩の場合、帯微褐白色粉末である。

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

問43 次のうち、クロルメチルの性質に関する正しい組み合わせとして、最も適当なものはどれか。

- a 無色の液体である。
- b 水に不溶である。
- c エーテル様の臭いと甘味を有する。
- d 空気中で爆発するおそれがある。

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

問44 次のうち、物質の名称とその主な用途の組み合わせとして、誤っているものはどれか。

番号	物質の名称	主な用途
1	ブロムエチル	アルキル化剤
2	五塩化 ^ひ 砒素	漂白剤
3	セレン化水素	ドーピングガス
4	アジ化ナトリウム	防腐剤

問 45 以下の記述は、2-クロロアニリンに関するものである。()の中に入る正しい組み合わせとして、最も適当なものはどれか。

2-クロロアニリンは、無色の(a)である。ほとんどの有機溶媒に(b)であり、水に(c)である。

番号	a	b	c
1	固体	可溶	可溶
2	固体	不溶	不溶
3	液体	不溶	可溶
4	液体	可溶	不溶

問 46 次のうち、フェノールの性質及び取扱方法に関する正しい組み合わせとして、最も適当なものはどれか。

- a ほとんどの有機溶媒に可溶であるが、水に不溶である。
- b 無色無臭である。
- c 針状結晶あるいは放射状結晶塊である。
- d 密栓遮光下に貯蔵する。

1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

問 47 次のうち、有機リン化合物の毒性に関する記述として、最も適当なものはどれか。

- 1 コリンエステラーゼ阻害作用により、縮瞳、頭痛、痙攣^{けいれん}、意識の混濁等を起こす。
- 2 皮膚からは吸収されず、経口により吸収される。
- 3 吸入した場合、血液に入ってメトヘモグロビンをつくり、また、中枢神経や心臓、眼結膜を侵し、肺にも強い障害を与える。
- 4 緑色または青色のものを吐き、急性のカタルを起こすとともに、血便を出す。

問 48 次のうち、ブロムメチルの貯蔵に関する記述として、最も適当なものはどれか。

- 1 圧縮冷却して液化し、圧縮容器に入れ、直射日光その他、温度上昇の原因を避けて、冷暗所に貯蔵する。
- 2 少量ならば褐色ガラス瓶を用い、多量ならば銅製シリンダーを用いる。
- 3 少量ならば褐色ガラス瓶を用い、多量ならばブリキ缶または鉄ドラムを用い、酸類とは離して、空気の流通のよい乾燥した冷所に密封する。
- 4 酸素によって分解するため、空気と光線を遮断して貯蔵する。

問49 以下の記述は、5－メチルー1・2・4－トリアゾロ〔3・4－b〕ベンゾチアゾールに関するものである。（ ）の中に入る字句の組み合わせとして、最も適当なものはどれか。

別名は、（ a ）である。毒物及び劇物取締法により、5－メチルー1・2・4－トリアゾロ〔3・4－b〕ベンゾチアゾールとして、8％以下を含有するものを除き、劇物に指定されている。農薬としての主な用途は、（ b ）である。

番号	a	b
1	ジメトエート	殺虫剤
2	トリシクラゾール	殺虫剤
3	トリシクラゾール	殺菌剤
4	ジメトエート	殺菌剤

問50 次の物質を含有する製剤について、劇物の指定から除外される上限の濃度として、正しい組み合わせはどれか。

番号	物質	濃度
1	過酸化水素	5 %
2	硫酸	6 %
3	硝酸	1 0 %
4	ホルムアルデヒド	1 0 %

毒物及び劇物の識別及び取扱方法

問51 次の廃棄方法に関する記述のうち、誤っているものはどれか。なお、廃棄方法は厚生労働省で定める「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」に基づくものとする。

- 1 エチレンオキシドは、多量の水に少量ずつガスを吹き込んで溶解し、希釈したあとに少量の硫酸を加え、エチレングリコールに変えてアルカリ水で中和し、活性污泥で処理する。
- 2 沃化水素酸^{よう}は、水酸化ナトリウム水溶液で中和した後、多量の水で希釈して処理する。
- 3 アニリンは、可燃性溶剤とともに焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。
- 4 三硫化二砒素^ひは、水酸化ナトリウム水溶液を加えてアルカリ性とし、酸化剤の水溶液を加えて酸化分解したのち、酸を加え中和し、多量の水で希釈して処理する。

問 52～問 53

次の漏えい時の措置に関する記述に該当する物質として、最も適当なものはどれか。なお、措置は厚生労働省で定める「毒物及び劇物の運搬事故時における応急措置に関する基準」に基づくものとする。

問52 多量の場合、亜硫酸水素ナトリウム水溶液（約10%）を加え、時々攪拌^{かくはん}して反応させた後、多量の水で十分に希釈して洗い流す。この際、蒸発した気体が大気中に拡散しないよう霧状の水をかけて吸収させる。

問53 漏えいした液は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、空容器にできるだけ回収し、そのあとを水酸化カルシウム（消石灰）等の水溶液を用いて処理し、多量の水で洗い流す。

- 1 アクロレイン
- 2 メタクリル酸
- 3 トリクロロシラン
- 4 水酸化鉛

問54 次のうち、ベタナフトールの識別方法として、最も適当なものはどれか。

- 1 水溶液に金属カルシウムを加え、これにベタナフチルアミン及び硫酸を加えると、赤色の沈殿を生ずる。
- 2 銅屑を加えて熱すると、藍色を呈して溶け、その際赤褐色の蒸気を発生する。
- 3 水溶液にアンモニア水を加えると、紫色の蛍石彩を放つ。
- 4 水酸化ナトリウム溶液を加えて熱すると、クロロホルムの臭気を放つ。

問 55 次のうち、酸化カドミウムを取り扱う際の注意事項として、最も適当なものはどれか。

- 1 大部分の金属、ガラス、コンクリート等を激しく腐食する。
- 2 強熱すると有害な煙霧を生成する。
- 3 重合防止剤が添加されているが、加熱、直射日光、過酸化^{きび}物、鉄錆等により重合が始まり、爆発することがある。
- 4 酸と接触すると有毒なホスフィンが発生する。

問56 次のうち、物質の名称とその性状に関する組み合わせとして、最も適当なものはどれか。

番号	物質の名称	性状
1	アクリルアミド	青色の液体
2	^{りん} 燐化水素	腐ったキャベツ様の悪臭を有する液体
3	二硫化炭素	橙赤色の固体
4	無水過酸化バリウム	白色または灰白色粉末

問 57 次のうち、アンモニア水の識別方法として、最も適当なものはどれか。

- 1 エーテルに溶かし、ヨウ素のエーテル溶液を加えると、褐色の液状沈殿が生じ、これを放置すると赤色の針状結晶となる。
- 2 濃塩酸を潤したガラス棒を近づけると、白い霧を生じる。また、塩酸を加えて中和した後、塩化白金溶液を加えると、黄色、結晶性の沈殿を生じる。
- 3 木炭とともに加熱すると、メルカプタンの臭気を放つ。
- 4 加熱すると酸素を発生して、塩化物に変わる。

問 58～問 59

次の物質による中毒の解毒・治療に用いる解毒剤・拮抗剤として、最も適当なものはどれか。

問58 硫酸第二銅

問59 ジメチルー 4－メチルメルカプト－3－メチルフエニルチオホスフェイト
(別名：フェンチオン)

- 1 ヘキサシアノ鉄(Ⅱ)酸鉄(Ⅲ)水和物(別名：プルシアンブルー)
- 2 プラリドキシムヨウ化物(別名：PAM)
- 3 ジメルカプロール(別名：BAL)
- 4 亜硝酸アミル

問60 次のうち、メチルエチルケトンの廃棄方法として、最も適当なものはどれか。なお、廃棄方法は厚生労働省で定める「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」に基づくものとする。

- 1 酸化法
- 2 アルカリ法
- 3 燃焼法
- 4 分解沈殿法